

I C T で 授 業 を D X ！

学年 小学校 3 年 教科 図画工作 など

写真の活用で児童の考えがより鮮明に！

使用するアプリケーション等

・ミライシード
(オクリンク)

単元・題材 にじんで広がる色の世界

本時の目標 自分たちの作品の造形的なよさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げることができる。(思考力、判断力、表現力等)

I C T を活用することで できること

- ・言葉で上手く伝えられない児童でも、写真を撮ることで自分が見つけた友達の作品のよさを正確に伝えることができる。
- ・トリミング等も活用することで、根拠を明確にして作品のよさを伝えることができる。
- ・自分がよいと感じた作品を写真に残すことで、伝えたい作品を後から取捨選択することができる。
- ・語彙が豊かであったり文章表現に優れていたりする児童が評価されがちだったものが、写真を活用することで児童が伝えたいことをしっかりと評価することができる。

D X 前 (I C T を使っていなかった頃は・・・)

1 導入

- ① 本単元で使用した技法等、学習したことを再確認し、鑑賞する際のポイントを押さえる。
- ② 鑑賞のマナーを確認する。

2 展開

めあて 友達の作品のよいところや面白いところを見つけてしょうかいしよう

- ① 友達の作品を鑑賞する。
 - 友達の作品のよいところや面白いところを見つける。
 - 見つけたことをワークシートに書く。
- ② ペアで共有する。
 - 友達の作品のよさをペアに紹介する。
- ③ 全体で共有する。
 - 全体で共有することで、見方や感じ方を広げていく。

3 まとめ

- ① 振り返りをする。
 - 振り返りをワークシートに記入する。

DX!

D X 後 (赤字はICT活用場面)

1 導入

- ① 本単元で使用した技法等、学習したことを再確認し、鑑賞する際のポイントをおさえる。
- ② 鑑賞のマナーを確認する。

2 展開

めあて 友達の作品のよいところや面白いところを見つけてしょうかいしよう

- ① 友達の作品を鑑賞する。
 - 友達の作品のよいところや面白いところを見つける。
 - 友達の作品のよいところを写真に撮る。
 - 全体を撮るのではなく、焦点化して撮るようにする。
- ② 撮った写真の中から伝えたいものを選ぶ。
 - 特に伝えたい作品を取捨選択する。
- ③ 図や言葉を書き加えながら伝えたいことをまとめる。
 - トリミング等も活用して、根拠をもってまとめるようにする。
- ④ ペアで共有する。
 - 友達の作品のよさをペアに紹介する。
 - 自分がまとめたものを見せながら交流を行う。
- ⑤ 全体で共有する。
 - 全体で共有することで、見方や感じ方を広げていく。
 - 資料を端末上で共有しながら交流を行う。



3 まとめ

- ① 振り返りをする。
 - 振り返りをワークシートに記入する。

授業者から (成果・課題・留意点)

- ・写真に撮ることで、文章表現が苦手な児童でも、友達の作品のよさを伝えることができていた。
- ・写真の取り方やトリミングなどを活用して、友達の作品のよいところを焦点化してまとめることができた。
- ・評価においても、ワークシートや発表からの見取りではわからなかった思いや考えを見取ることができるようになった。